

1 本校の実態（学力調査結果より）

教科に関して	生活面に関して
①全学年に共通する課題 国語 ・文の構成（主語・述語等） ・条件（言葉・字数制限）に沿って書く。 算数 ・必要な情報を読み取り、思考・解答する力。 理科 ・1年間の動物の様子・電流の向きと強さ	①基本的な生活習慣は、かなり身につけている。 ②家庭学習の時間は確保されている。 ③読書量は増えているが、質に課題がある。 ④自分の考えを話す、自分で計画を立てて活動することに苦手意識を持っている。

2 指導改善のポイント

教科に関して	生活面に関して
①授業力の向上 ②学習規律の確立 ③基礎・基本の定着・書く力育成 ④学習サポーターによる支援や家庭との協働	①基本的な生活習慣の定着 ②学習習慣の確立 ③豊かな心を育む教育活動の充実 ④基本的な生活習慣における地域・保護者との協働

3 本年度の具体的取組

※下線の項目は、学校経営重点目標と関連

(1) 授業力の向上…「わかる・できる授業の創造」「伝え合うことができる児童の育成」

○一人一授業公開、互見授業の実施…多様な考えが持てる課題、算数的活動を活かした問題解決学習の工夫

○書く力の育成…構造化された板書により、学習のまとめを自分の言葉で書く（70%以上）

卒業レポートや新聞の構成指導（課題設定・情報収集・整理分析・まとめ等）

○伝え合う楽しさを感じる生活や活動の工夫…授業や朝・帰りの会の時のディベート・簡単スピーチ

(2) 学習規律の確立

○「城南小学習の約束」の定着、一人ひとりの活躍の場の設定、わからない事から学習が広がる学級風土作り

(3) 基礎・基本的の定着及び活用力の育成

○はなまるタイムの充実…基礎基本の徹底、漢字、記述問題や作文の取組（正答率70%）と授業への活用

○低学力層の児童への補充支援の徹底（少人数指導・放課後学習教室）、総まとめテストの実施

○各種学力調査の分析と苦手分野の重点的・系統的取組、家庭学習の内容と習慣化（できた90%以上に）

(4) 地域人材を活用した学習サポーターによる支援や家庭との協働

■書写外部講師、平和集会語り部、キャリア教育、放課後学習教室・ステップアップ教室の学習サポーター

■読み聞かせボランティアや図書館支援員、図書館ボランティアを活用した取組の強化…読書活動の充実

◆学習習慣の確立のための保護者の学習確認（丸つけ・認めを85%以上）◆定期的な生活リズムチェック

学期	今年度の重点		評価・研修
1学期	<授業力向上> わかる、学ぶ喜びを実感する授業 1 学習課題の工夫・設定 2 学習規律の徹底 3 一時間完結型授業と家庭学習（調べ学習など）とのつなぎ 4 板書の構造化→学習のまとめ 5 各学年の「書く力」分析・育成	<学習の定着> 1 はなまるタイムの充実 ・計算ドリル・読解力ドリルなど 2 補充学習・個別学習・少人数指導で個別指導 3 ◆家庭学習時間の確保 学年×10分+10分 <学力補充教室の実施>4・5・6年 ○習熟度別指導 ・低学力層の学力向上 ・全体的な意欲・学力引き上げ	○学力調査の実施 大分県学力定着状況調査（5年） 全国学力・学習状況調査（6年） ○学校評価の実施
夏季休業	○1学期授業づくりの成果と課題 ◆ ステップアップ学習の支援	○学校評価の分析 ○学力調査の分析	
2学期	<授業力向上> ○一人一授業公開…「伝え合い」「算数的活動を活かした」授業の工夫 ○授業課題をとらえる教材研究 ○日ごろの授業観察と管理職による指導・助言○互見授業の実施 ○外部指導者を招いた校内研修	<学習の定着> ○家庭学習の充実 ○はなまるタイム…「国・算・作文ワーク」「テスト分析による苦手領域の復習」「記述問題や作文への取組」 ◆ 放課後学習教室サポーターの充実 ◆ 家庭学習の丸つけの充実	○分析結果を生かした実践 ・各学年の単元指導の充実及び補充プリント実施 ○学校評価の実施
冬季休業	2学期の授業づくりの成果と課題 3学期の計画	<個別指導> ・低学力層児童への指導・支援	○学校評価の分析
3学期	<授業力向上> ○弱点補強 ○個別指導 ○考えを書く力・レポートや新聞を構成する力の充実	<学習の定着> ○家庭学習の充実 ○はなまるタイム充実 ○まとめテストの実施	○大分市標準学力調査（4年） ○学力調査・学校評価の分析 ○年間まとめテスト実施・評価